

トピックス

まほら

まほらとは～丘や山に囲まれたすぐれたよい所～
古事記「中巻」より

第16号 平成30年 8月発行

自然に学び、地域に生かす

出雲土建株式会社
建設事業部 緑化事業課

TEL 0853-22-0388

FAX 0853-22-0377

Email: izd-ryokuka@i-doken.co.jp



IZUMO
DOKEN

浜山公園野球場改修に伴って、球場周辺の クロマツの大木を25本移植しました！



県立浜山公園にある野球場の改築工事を前に、
周辺のクロマツ25本を園内に移植する作業を3
月に行いました。移植したクロマツは、1982年
に浜山公園を主会場に開催された「くにびき国
体」に向け、1974年に野球場が整備された際に
周辺に植栽されたもので、約45年ぶりに動かすこ
ととなりました。

～移植したクロマツの大きさ～

・樹の高さは、3m～6.5m

・幹の太さは、

幹周60～89cm・・・ 12本

幹周90～119cm・・・ 9本

幹周120～150cm・・・ 4本

※幹周は、根元から1.2mの高さの幹の周長です。



野球場周辺から園内各所に移植しました！



近年は趣向や費用の関係で大木の移植を行われなくなりましたが、クロマツは島根県の県木であり、浜山公園では、長年大切に管理をされていたことから移植をする運びとなりました。大木は根鉢も大きくなり、かなりの重量になることから移植はかなり難しく手間もたくさん掛かります。25本を移植するのに約1カ月かかりました。



▲根鉢は縄、コモでしっかり造ります



▲大型のトラックで園内を運搬します



▲大型のクレーンによって吊り上げ、所定の場所へ木炭と堆肥を混合して植え付けます



▲移植が完了したマツ

出雲大社 神楽殿西側 鏡の池

「島台の松」の樹勢回復を行いました！ 平成30年3月



■島台の松

樹高：10m

枝張り：10m

幹周：2.2m

樹齢：300年（推定）

鏡の池西側中程に直径8mほどの島の中心にあります。

水面から土の部分が50cmしか無く、近年は枯枝が頻繁に発生するなど衰弱してきました。

■治療の内容



▲幹、枝に着生する地衣類の撤去、支柱の設置直し



▲土壌改良 表土を剥ぎ取り、筒状に掘削



▲多孔質土壌改良用木炭「炭八」を敷設



▲きれいな土を敷き均し

山口ゆめ花博開催 平成30年9月14日～11月4日！

島根県造園協会から出展！ 設計施工に協力しました。

毎年、各県を会場に都市緑化フェア（花博）が開催されていますが、今年は山口県阿知須きらら記念公園を会場として52日間開催されます。『緑豊かな街づくり』～窓辺に花を・くらしに緑を・街に緑を・あしたの緑をいまつくろう～をテーマに、会場を①ウェルカムゾーン、②花の谷ゾーン、③庭のパビリオンゾーン、④森のピクニックゾーン、⑤山の外遊びゾーン、⑥海の外遊びゾーン、⑦2050年の森ゾーン、⑧海の大草原ゾーンに分け、島根県造園協会として県内の造園業者が集まって庭を造り、③の庭のパビリオンゾーンに出展をしています。皆様是非この機会に足をお運び下さい。

■出展作品解説



この庭は出雲の原風景をモチーフに、手前側の市松模様は水田を表現しています。出雲平野は日本三大散居の一つで、屋敷林の築地松はこの地方だけの景観です。石積は棚田を現し背後に設置した垣根は出雲弁で「はでば」（稲穂をかける場所）や、前に置いた水瓶も出雲弁で「はんど」と呼ばれるもので昔ほどの家庭にあった必需品です。今回はプランターとして活用して侘しさを表現しました。また、島根県の県木である2本のクロマツを用い、出雲独特の原風景を表現した庭になっています。



■完成した出展作品の前で・・・

作庭した有志6名 平成30年7月20日撮影

松くい虫に強い！ 抵抗性クロマツ「くにびきマツ」 地中ポット栽培開始！



平成30年4月 地中ポット作成 弊社神西圃場

松くい虫の被害地に苗の供給を行うため、松くい虫に強い苗、抵抗性クロマツ「くにびきマツ」の生産を、平成18年に林業種苗法に基づく生産事業者登録を取得し、生産をしています。苗を大きく育てて築地松や緑化樹として供給を行うため地中ポットに栽培を始めました。

現在60cmφ地中ポット30本、40cmφ地中ポット100本を生産中です。



60cmφ地中ポット



40cmφ地中ポット